



音声符号発生器

動作:
発声器からBluetooth経由で送られてくるASCIIコードを、そのままUART経由で音声合成ICに送る。この出力をアンプで電力増幅してスピーカを鳴らす。(コントローラ不要の単純な構成) 器はパラボラアンテナっぽく働く。

所見:
探知距離を20m前後としているので、Bluetoothの感度が大き過ぎて、存在範囲が広く、場所を特定しにくい

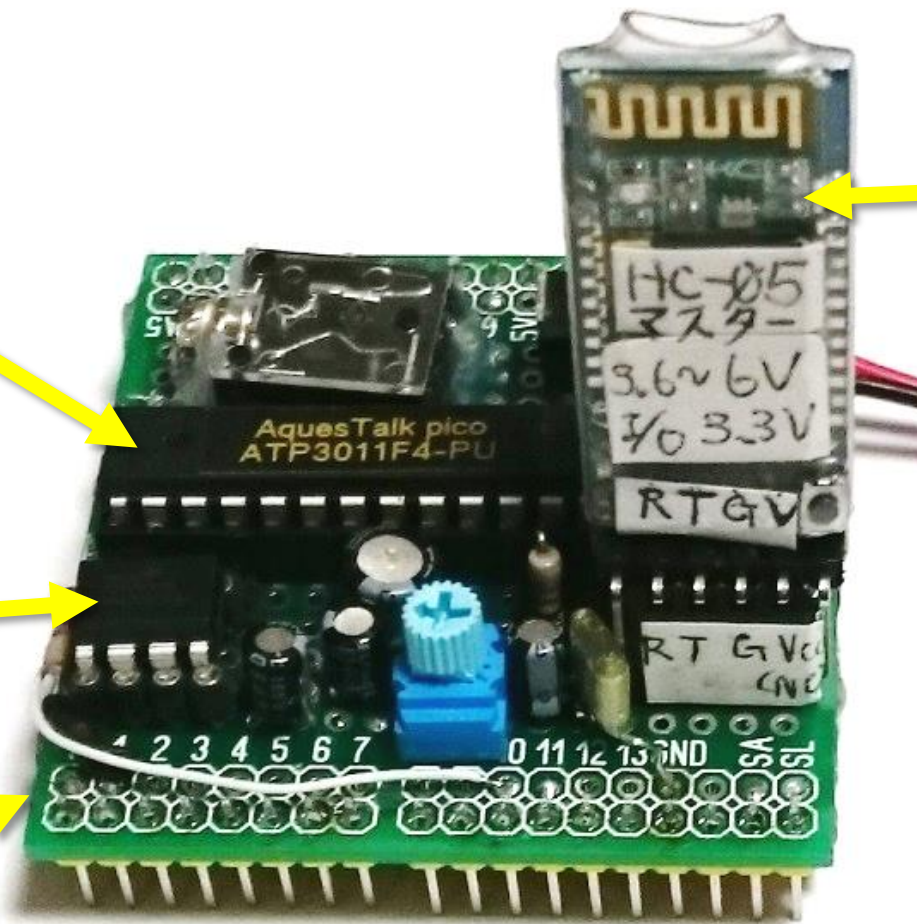
考察:
別途、導波物体を考える

指向性反射器内の探知機.
器はステンレスボール(150円)

音声合成IC
ATP3011F4-PU

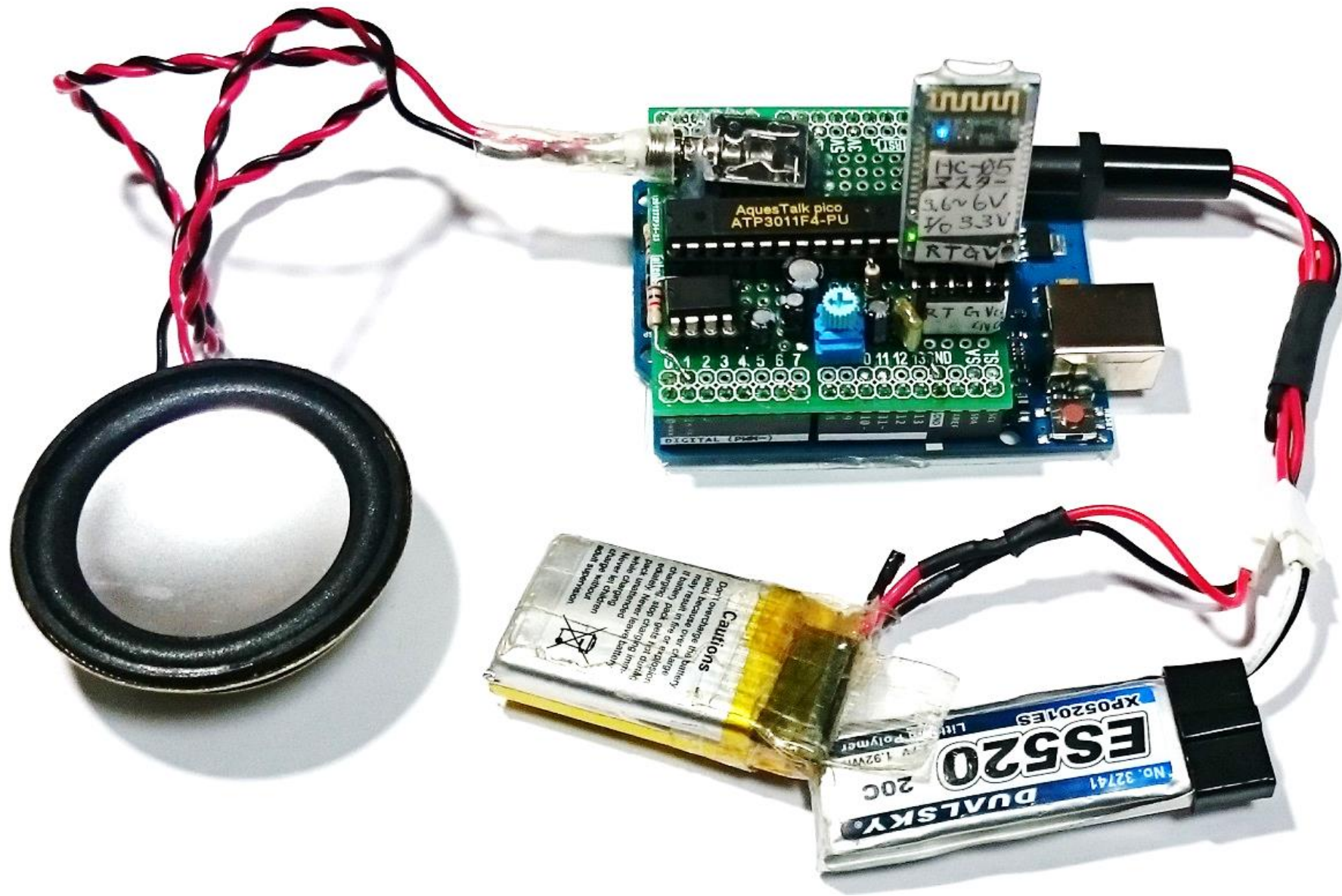
オーディオアンプ

ArduinoUNO
プロトタイプ
試作基板



Bluetoothモジュール
HC-05
マスターモード設定
可能な素子

探知部分
基本的に音声合成ICと
Bluetoothモジュール



Arduino UNOを用いた当初の探知機